

## ○ 土曜ガイドウォーク

1. 日時: 2020. 10. 10 (土) 10:00~12:10 天気 晴れ
2. リーダー: Y ききみみメンバー: 2名
3. 参加者数: 大人 1名 子供 1名 対象者: どなたでも
4. ねらい: 森をゆっくり散策しながら、色づき始めた葉っぱや木の実を観察し、夏から秋へと自然が移り変わりにつつあることを感じてもらう。
5. 活動場所: ネイチャーセンターから芝生広場~ソヨゴ広場~中央広場~頂上~湿地~センター
6. 活動内容: 少しずつ秋を感じ始めた森の自然、特に樹木などの植物の特徴や生育状況を観察してもらった。

時間・場所	内 容
10:00	ネイチャーセンターに集合 あいさつ
10:10	トレイル①~山頂~湿地~センター <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤマナラシ……葉の軸に当たる葉柄の断面は扁平で、風が当たるとざわざわと音がすることから名前がついた。樹皮にひし形の皮目があり、樹種の識別に役立つ。ひし形の皮目がソロバンの玉のように見えることからソロバンの木ともいう。</li> <li>・ヤマコウバシ……他の落葉樹が葉を落としても枯れ葉を枝から落とさず、春まで「落ちない」ということで「受験のお守り」として人気がある。</li> <li>・タラヨウ……落ちていた枯れ枝で葉の裏面に引き書きしてもらった。別名にハガキノキがあるが、文字の書けることから別名はついた。 住所と名前を書き 140 円ほどの切手を貼ると郵送してもらえる。</li> <li>・クサギ……クサギの果実は赤紫色の萼が花卉のようであり、青紫色の果実と一体となって、コンストラクションを明瞭にして面白い形となっている。鳥に果実のある場所を知らせる役目をしている（二色効果）。</li> <li>・クロモジ……特有の香気（芳香）があることから、この木が和菓子用の爪楊枝として使われている。冬芽には、葉芽と花芽がある。葉芽は紡錘形で、花芽は、先のやや尖った球形で1~2個付く。</li> <li>・その他 多くの植物の観察ができた。</li> <li>・鳥では、エナガにヤマガラ混じっている群れが数か所で見られた。また、コゲラも数か所で観察することができた。</li> </ul>
12:00	参加者のうち一人が終了時間前（11:40頃）に帰られたのでアンケートは回収しなかった。

### 7. ふりかえり

- ・雨上がりで、小鳥の活動が活発であった。
- ・季節の移ろいを感じながら歩くことができた。
- ・ヤマザクラの花の開花や、ツクツクボウシの鳴き声、セミの塔など様々な発見があった。

### 8. リーダーの感想

- ・心配していた台風が横道にそれてくれたが、前日の雨のため足元を心配してキャンセルの連絡があり、参加者が少なかったのが残念であった。
- ・木の実が色づいており、少しずつではあるが秋を感じてきた。やはり、木の実など食べられるものがあることで、参加者の気を引くことができた。

### 9. その他（資材・配慮など）

- ・下見をすることによって、この時期にない花や果実の写真資料などを見せることができ、幅広い案内や説明ができる。